

## 福井県の日本海域の島嶼と半島沿岸域の昆虫, 特に甲虫類の生物地理学的特質

Biogeographical Characteristics of the Japan Sea District of the Islands and the Peninsular  
Areas in the Coleopterous Fauna of Fukui Prefecture, Central Japan.

佐々治寛之\*

(福井大学教育学部生物学教室)

### はじめに

日本列島にユーラシア大陸に接近して北方から南西にかけて弧状に位置し、区系生物地理学的には本来旧北区に所属するが、かなり強く東洋区系的要素が加わる。特に大部分の昆虫類は夏期に活動し、その季節は季節風と海流が南から北へと流れるので、昆虫の分布はその流れに大きな影響を受ける。特に本報で研究の対象とした島嶼と海岸近くの半島部は暖地性の照葉樹に覆われ、その傾向が強い。昆虫は全生物の中で既知の種数において最も多様性に富む分類群で、従って地域ごとに特異性を持っているので、生物進化の研究材料として、また自然環境評価の対象として利用できる。また、ここでは陸上動物を対象とするが、その陸上動物は栄養源や生活空間として植物に依存しているので当然そのような共生関係を配慮しなければならない。

福井県の生物環境を考えるに当たっては、日本海域全体の相互関係を見なければならないが、さしあたりここでは日本海に浮かぶ福井県の島嶼と沿岸に近い半島部を対象とする。生物地理学の基礎的な資料として地史を考えねばならないが、敦賀湾・若狭湾から伊勢湾を結ぶ線が生物分布の境界線としても考えられている。また、島・半島の対象となるのは福井県の北半では三国町の雄島およびその周辺部しかないが、敦賀市から西方の地域は海岸線と起伏に富むリアス式海岸となっている。昆虫の分布は先に述べたように季節風や海流によって運ばれるだけでなく、自力による移動も無視できない。また近年におけるイネミズゾウムシの伝播でも知られるように、人間の経済活動による昆虫の移動も少なくない。

この研究の第一の目的は、福井県の島嶼・半島域という照葉樹林を中心とした生態的環境が昆虫相の研究にどのように関連しているかという事である。そのためには現状をなるべく詳細に把握する必要がある。調査の対象とした地域は幸いにして、かなり良好な自然環境が保持されている。その理由はいくつかあり本文中でも触れるが、例えば常神半島では車道が出来たのは比較的近年のことで、陸の孤島と呼ばれたように、漁業だけの生活で森林伐採がなされなかった。しかし、現在すでに民宿やホテルが立並び、住民の生活は変わってきた。いま、御神島や蒼島は自然保護の立場からも保全され、海岸まで渡島できても、急峻な島内を歩くことも困難である。しかし、少しばかりの工事が許されるならば、見事な観光地となることは目先のことと思われる。

観光を目的としたような開発は絶対に避けるべきだと主張したいが、それ以上に現在の私たちににとって大切なことは、正確な知見の集積である。それほど現在の知識は不十分である。対象とした地域の自然を今の内に調べておき、子孫に残しておかなければならない。

なお、本題では昆虫綱のうちコウチュウ目(甲虫目)だけを対象としたが、その他の昆虫を含めた概要をはじめに付加しておいた。

(キーワード：日本海域、島嶼・半島、甲虫類、生物地理学)

\* Hiroyuki SASAJI, Biological Laboratory, Fukui University, Fukui, 910-0017 JAPAN

## 調査地域の概要と調査の経緯

表題に示した小論の取扱う地理的範囲は、島嶼は文字通り福井県の行政区域内の島である。嶺北では雄島だけである。越前海岸沿いに類似した環境もあるが、島嶼の意義から脱落するので省いた。若狭湾には東方から敦賀半島、常神半島、内外海半島、大島半島、内浦半島があり、その沿岸部を島嶼とともに調査の対象とした。福井県で最も大きな敦賀半島の西方ヶ岳を中心とした山岳地帯は島・半島の自然環境とはいえない。

雄島以外の島嶼は無人の離島で特別の船をチャーターしなければならないので調査は甚だ困難である。しかも前述のように島の昆虫相は貧弱なので、昆虫標本の収集を目的とした研究者・同好者の成果にはあまり期待されない。1973年福井県自然環境保全基礎調査なるプロジェクトが開始され、福井県全域を調査することになった。雄島の昆虫相の特異性が気付かれたのも同年である。福井大学の理科教育に関するプロジェクトが始まったのも同年で、共同で野外調査することになる。御神島は1978年にやっと渡島する機会を得たが、ヒメハルゼミの多産をはじめ驚くべき昆虫相が知られた。暖地性の照葉樹林の特異性は常神半島の先端部に位置する常神と内浦半島の先端部の音海でも見られる。以下取扱った地域の概要を自然環境の保全に関連して略記する。

雄島（おしま） 三国町安島、安島集落の西約300m、面積0.1km<sup>2</sup>、標高36m、島内に大湊神社が祀られ、観光客が多いが林内はタブ林、スダジイ林の自然林が良く保たれ、地質・植物・動物などの観察場所として貴重である。

敦賀半島 主な調査地点は敦賀市常宮、立石岬、白木、美浜町菅浜などである。

常神半島 最も重点的に調査したのは常神（つねかみ）の集落から先端の灯台へ至る道すじで、照葉樹林を主体としかなり変化に富む植生となっている。途中神子（みこ）、小川などの集落がありその社叢林は自然環境が良く保持されている。それは交通が可能になったのは戦後の比較的新しい時期で、住民は漁業に頼っており林業による開発は出来なかったことに起因する。歴史的に興味ある地域らしいが省略する。

御神島（おんかみじま） 三方町常神。常神半島の先端から約500m西にあり、面積約0.4km<sup>2</sup>、標高195m。西岸は100mの断崖で、東岸は40°の急傾斜である。スダジイ、シロダモ、ヤブニッケイ、トベラを主とした典型的な照葉樹林で植生学上注目される。神功皇后が三韓出兵の際に暴風をさけるために立寄ったという伝説もある。

島辺島（うべじま） 三方町世久津から北西約1.2km、周囲約2km、標高95mの小島で照葉樹を主体とするが、蒼島などと比べるとやや開発が進んでいる。

内外海（うちとみ）半島 小浜市。北側海岸は景観に秀れているが、昆虫相はほとんど調査されていない。

蒼島（あおしま） 小浜市。荒木の北方約1km、面積0.02km<sup>2</sup>、標高44m。照葉樹林に覆われ、「蒼島暖地性植物群落」として国の天然記念物になっており、ナタオレノキは日本海側の北限。

児島（こじま） 小浜市。内外海の東方にある小島。

大島半島 大飯町。犬見にある青戸の大橋により渡島できるが、あまり調査されていない。

冠者島（かんじゃじま） 大飯町朝倉鼻に近い小島。

音海（おとみ） 高浜町。内浦半島の北端にあり、集落から北方へ伸びる地域は豊かな照葉樹にはぐくまれ、本文で示されるように幾多の暖地性昆虫の北限となっている。途中にある音海断崖は良く知られている。突端にある灯台付近（今戸鼻）は吹き上げによる昆虫がみられる。

鷹島（たかしま） 高浜町沖合の北約200m、周囲約410m、標高38m。照葉樹林に覆われ、集落から泳いででも行ける距離でありながら、自然はよく保全されている。

風島、稲島などの高浜町の小島がある。



ここで留意したいのは雄島は自然環境の保全が行政や寺社によって留意されているとはいえ十分でなく、重点的に取り上げた常神や音海では住民の生活と大きくかかわっている。交通網の発達によって細々と零細な漁業に頼って来た人たちは民宿やホテルなどでうろうおうことになる。お互いに人間として生活しているのであるからある程度の開発は止むを得ないことであろう。

福井県の島嶼生物相についての研究はほとんどなされていなかった。しかし、御神島、蒼島、鷹島は島頂に近いところに祠があり、祭祀が行われたようであるから、全く無関心の島ではなかった。にも拘わらずほとんど手がつけられずに今日まで残されたことは喜ぶべきであり、今後もそうしてほしいものである。急峻な地形は容易な開発を妨げたのかもしれないが、階段やロープの設置によって、観光客の誘致は容易なことであろう。現実には夏期の海水浴客だけでなく、若狭湾の美しい風景とおいしい水産物を求めて海浜の集落を訪れる客が絶えない。

本地域の昆虫相の研究については、福井県自然環境保全調査研究会および福井昆虫研究会による成果を参考とした。また、福井大学教育学部学生の卒業研究の中にはこの地域の昆虫相に関するものがあり参考とした。個人の研究成果は多数あるが、特に上野輝久氏は若狭湾島嶼の甲虫相に大きな貢献をもたらした。

## 当該地域昆虫相の生物地理学的特質の要約

本報の主体は昆虫のうちのコウチュウ目であるが、昆虫全体を見渡しての特質を要約して見る。個々の種の分布データは1985年刊の「福井県昆虫目録」および現在印刷中の「同2版」で公刊されるので詳細はその方に委ねる。

ヒメハルゼミ *Euterpnosis chibensis* Matsumura 照葉樹林と結びついた暖地性昆虫として知られ、日本海側では新潟県能生を北限とし、そこは生息地天然記念物とされている。富山県からの記録はない。石川県中宮からの記録は誤認とされている。「福井県生物目録」(1933)に“ヒメハルゼミ”の一種としてあげられているが詳細は不明で、謎の昆虫であった。1987年7月、福井県三方町常神に近い御神島で樹冠に群生する大合唱を聞き、下草で多数の脱皮殻を確認採集した。新潟県能生の生息は例外的な分布とすれば、北限に近い分布地として注目される。

クチキコオロギ *Duolandrevus* sp. 体長30mm弱でエンマコオロギよりやや小さい大型のコオロギで翅が腹部の半長で短いので容易に区別でき、朽ち木・腐材の樹皮下に生息し、福井県では音海で発見され、三方町世久見でも記録され、分布北限の著名な暖地性昆虫である。

マツムシモドキ *Aphonoides japonicus* (Shiraki) 音海から採集されたが、分布北限である。

ナカジマシロアリ *Glyptotermes nakajimai* Morimoto 小浜市蒼島で1994年6月に採集された。良く知られているように、シロアリ類は今までに全般的に亜熱帯から熱帯に繁栄している昆虫で、福井県ではヤマトシロアリだけが分布し、家屋害虫として極めて危険なイエシロアリは分布していない。ナカジマシロアリは本州以南黒潮沿いの沿岸から記録され、一番近いところでは紀伊半島串本で日本海側からの記録はなかった。

島嶼ということ抜きにして昆虫の分布を考えると福井あたりを北限とする種が相当たくさんある。しかし、照葉樹林が日本列島において南から北へと伸び、それに伴って昆虫が分布を拡大したとするならば無関係ではないであろう。

上記には昆虫の内特に生物地理学上重要で、かつ顕著な大型種を紹介した。また、甲虫については次節に述べるのでそれ以外のものである。このような分布についての記述は、比較的大型であるか、特に顕著な形質によって識別されるものでないと説得力がない。例えば、小型のハエで専門家以外は関心がない種は、新種記載の段階で標本が1カ所であれば“固有種”である。分布の範囲は調査の進展によって変更されるのは当然である。

全般的観点から包括して考察すると、雄島を含む福井県の島嶼昆虫相は近隣の地域以上に暖流による東洋区系要素が強く、島ごとに顕著な特異性(次項に示す)が認められることである。



## 生物地理学上重要な甲虫類の種の分布

前節では昆虫全体から見て特に分布上注目すべき若干の種について紹介した。ワレスの東南アジアにおける動物分布論や、ガラパゴス諸島の生物からダーウィンが進化論に導いた例を引用するまでもなく、近隣地域における生物多様性の比較は重要な資料をもたらす。特に移動が制限される生物において顕著である。島嶼は他の地域と移動という面で隔離されているので、それぞれの独自の生活圏を持っている。ただし、島といっても対馬・南西諸島の島々ほど長い期間の隔離ではないので、新種の形成には至っていないのが普通である。もちろん、オサムシ類のように甚しく移動が制限されている昆虫では地域によって種分化の速度が速く特有の種または亜種が形成されているものもある。むしろ多くは南西暖地で種が形成されて、その北進移動の程度によってそれぞれの地域の昆虫相が形成されるケースが多い。

今までに述べたように、福井県の島嶼や半島地域は照葉樹林を主な生活圏としており、特にそこにいる甲虫類の多くは木材やきのこなど食べているか、その捕食者であることが多い。しかもその林相は御神島・蒼島・鷹島に見られるような典型的な照葉樹林で、その傾向は雄島・常神・音海など開発が控えられているか、遅れている所にも見ることができる。本報は甲虫類の分布を対象とするが前段階で、地形や植生の概要を述べたのはそのためである。基礎的な資料として当該地域で確認されたコウチュウ目（甲虫類）の目録を作成した。本来ならば、調査年月日、採集者、標本の保管場所などのデータを提示すべきであるが省略した。また学名についても別途福井県からの報告書が準備されているので以上の特に重要なもの以外は省略した。

### カミキリムシ科

昆虫類のなかではチョウ類に次いで同好者が多く、県別の分布図も公刊されており、環境指標としても有用である。日本産約700種のうち福井県から277種が記録されており、当該地域からは75種で少ないが山地性種が多数を占めるハナカミキリ類が少ないためである。

オガサワラチャイロカミキリ *Comusia testacea* (Gressitt) 1937年太平洋昆虫分布を調べたグレスセット博士によって小笠原諸島から発見記録された。その後南西諸島、四国南岸、九州太平洋岸からも報告され、1973年三国町雄島から発見され話題を呼んだ。その当時、日本海側からも発見されると予想したが、対馬、平戸、京都府冠島からも採集された。現在のところ分布西北限である。

ニッポンモモブトコバネカミキリ *Merioneda formosana septentrionalis* Tamu et Tsukamoto 常神。本種の分布西北限。京都府冠島から鞘翅が短小で後腿節が異常に肥大する新種として記載されたが、その後台湾などに産する種の亜種とされ、福井県から1993年酒井によって常神先端からの採集品によって記録された。なお同属のスネケブカヒロコバネカミキリは太い腿節に金色の毛を持った美麗種で、近くの青葉山と河野村糠から記録され分布北西限である。

キュウシュウチビトラカミキリ *Perissus kiusiuensis* Ohbayashi 美浜町水晶浜、御神島、音海に産し、分布西北限である。

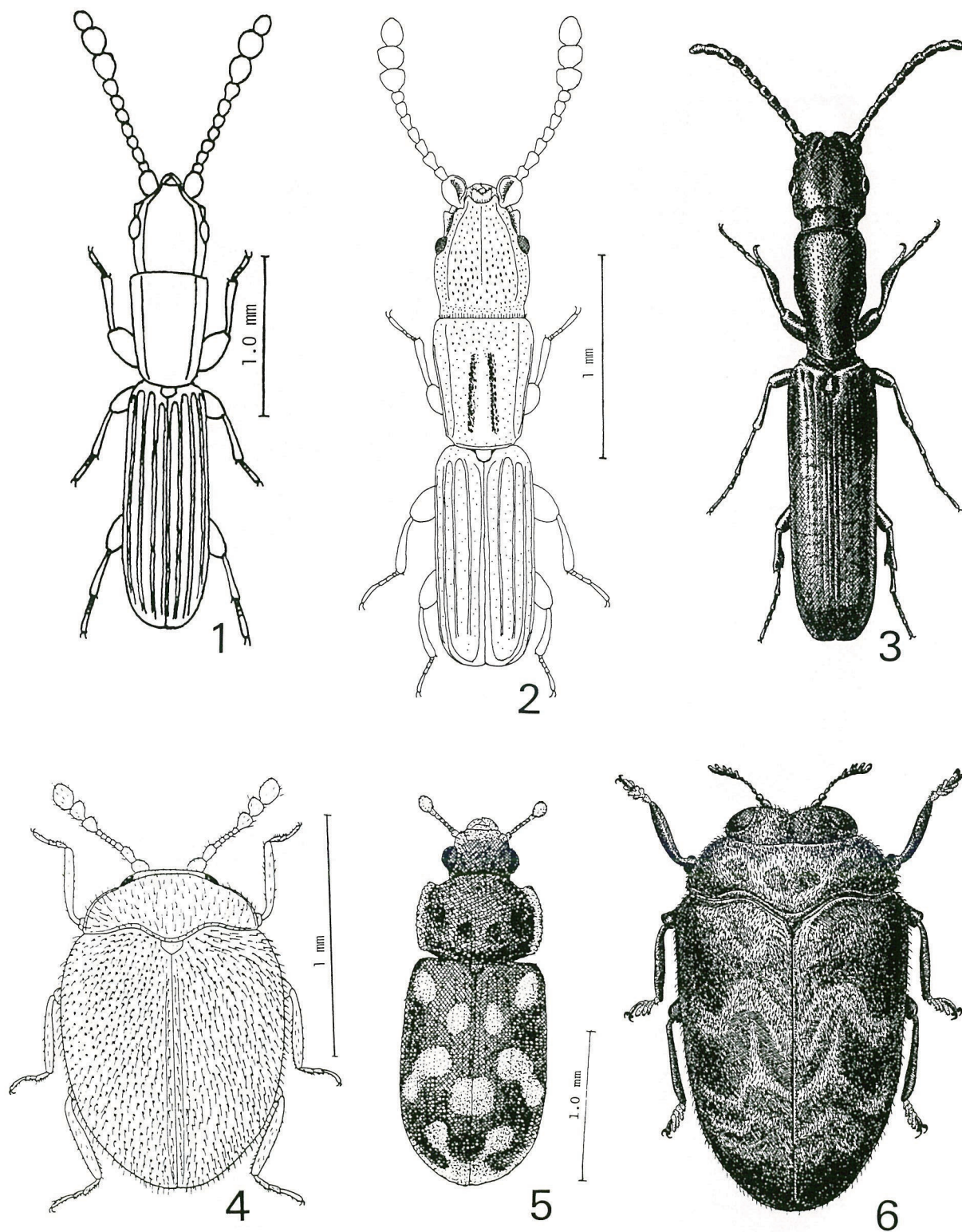
ヤノトラカミキリ *Xylotrechus yanoi* Gressitt 大型美麗種で、敦賀以西から記録され、三方町遊子、音海から記録されている。西北限。

ヒメアヤモンチビカミキリ *Neosybra cribella* (Bates) 照葉樹に従属した種らしく、御神島と烏辺島から採集された。

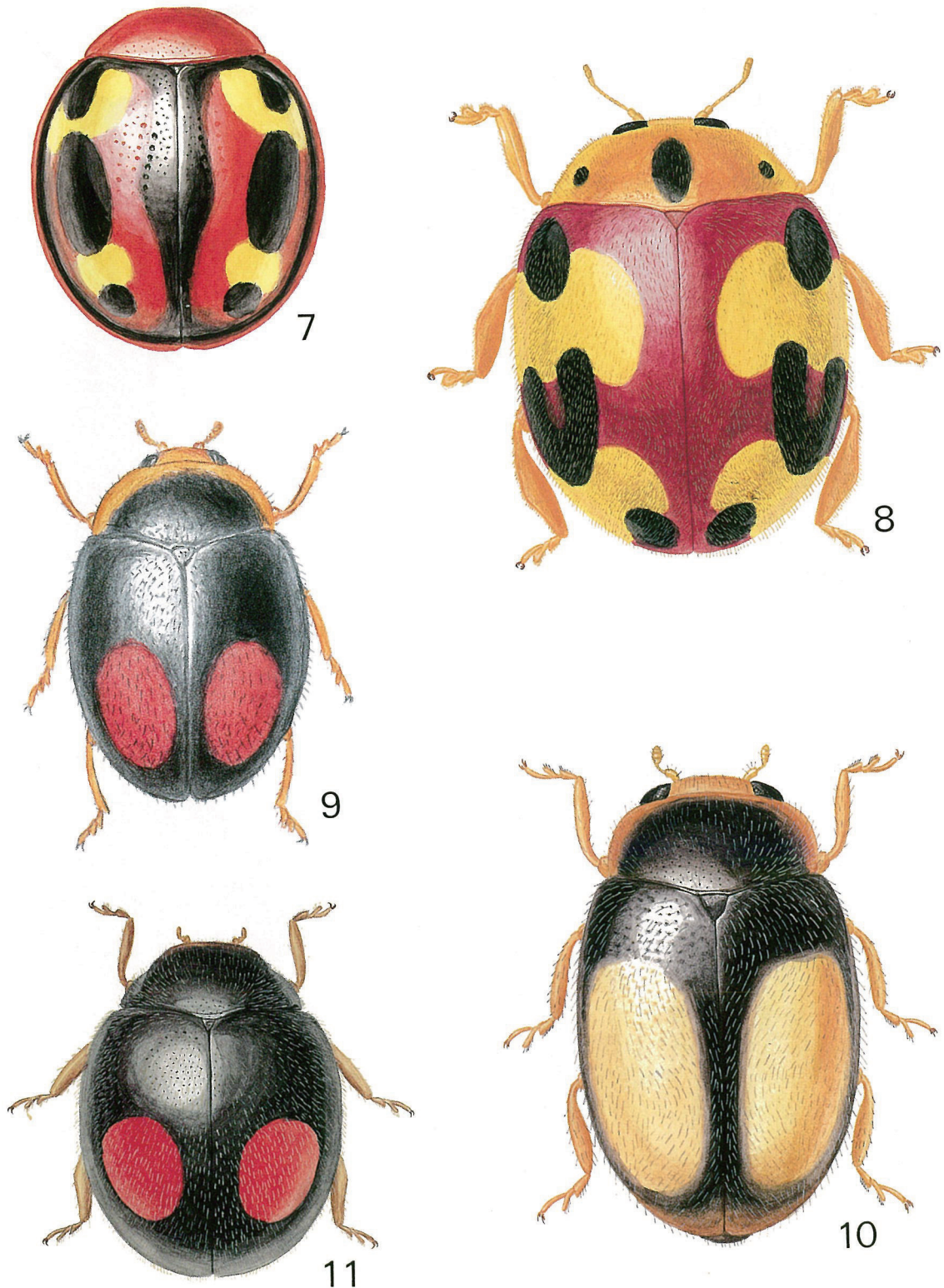
クロオビトゲムネカミキリ *Sciadea fasciatus* (Matsushita) あまり目立たない種であるが、近隣地域に記録がない。御神島。分布西北限。

そのほか、シロスジドウボソカミキリは高浜町風島から記録され、ベーツヤサカミキリとベーツヒラタカミキリは顕著な暖地性昆虫で、それぞれ雄島や音海から記録されているが、石川県でも採集されている。





- 図1 ホソチビヒラタムシ *Leptophloeus femoralis* Sasaji, 1983 (チビヒラタムシ科)
- 図2 ムナクボホソチビヒラタムシ *Leptophloeus foveicollis* Sasaji, 1986 (チビヒラタムシ科)
- 図3 ツツヒラタムシ *Ancistria apicalis* Reitter, 1889 (ツツヒラタムシ科)
- 図4 ダエンテントウダマシ *Mychothenus asiaticus* Sasaji, 1978 (マルテントウダマシ科)
- 図5 ペニモンヒメヒラタホソカタムシ *Cicones rufosignatus* Sasaji, 1984 (ホソカタムシ科)
- 図6 サシゲチビタムシ *Trachys robusta* Saunders, 1873 (タムシ科)



- 図7 クロヘリメツブテントウ *Sticholotis hilleri* Weise, 1885 (テントウムシ科)  
図8 アミダテントウ *Amida tricolor* (Harold, 1878) (テントウムシ科)  
図9 オシマヒメテントウ *Nephus oshimensis* Sasaji, 1976 (テントウムシ科)  
図10 セスジヒメテントウ *Nephus patagiatus* (Lewis, 1986) (テントウムシ科)  
図11 フタモンクロテントウ *Cryptogonus orbiculus* (Gyllenhal, 1808) (テントウムシ科)



### クワガタムシ科

チビクワガタ *Figulus binodulus* Waterhouse 名田庄村頭巾山から記録され北限分布地として注目されていたが，蒼島，鷹島からも採集された。朽ち木や樹皮下に生息する小型クワガタムシである。

### タマムシ科

タマムシ類の多くは幼虫は材中で生育し，成虫は植物の葉を食べるので，海流による伝播が行われる。ただし，チビタマムシ類は幼虫が葉肉を食べる潜葉虫である。

サシゲチビタマムシ *Trachys robusta* Saunders 敦賀市常宮，高浜町音海。スダジイにつき，体長3.6–4.6mm。鞘翅の毛斑は金褐，銀白，黒色からなる。代表的な暖地性昆虫。現在の北限は福井市二上（文殊山麓）である。

### マルテントウダマシ科

コマルガタテントウダマシ *Idiophyes niponensis* (Gorham) 希少種で，烏辺島，蒼島，高浜町音海から記録された。

ダエンテントウダマシ *Mychothenus asiaticus* Sasaji 基準標本は福岡県英彦山産であるが新種記載は多数の福井県雄島の副基準標本が用いられた。体長1.2–1.5mm，褐色で雄島では竹藪から幼虫とともに採集され，幼虫・成虫ともに消化管内に黒褐色の菌胞子が見られた。（図4）

### テントウムシ科

福井県からは87種のテントウムシ類が記録されており，そのうち目録のように40種が当該地域から確認された。特に注目すべき種について説明を加えておく。

クロヘリメツブテントウ *Sticholotis hilleri* Weise 体長3.3mmの美麗種で，福井県からは音海と名田庄村虫谷から記録されている。全国的にも極めて希少な種で，既知産地は基準産地の山口県萩と奈良春日山以外は福井県の2ヶ所だけである。（図7）

アミダテントウ *Amida tricolor* (Harold) 分布記録に示されているように若狭湾の島嶼・半島部に広く分布し，個体数も多く各地で最優先種となっている。照葉樹に多いアオバハゴロモの幼虫を捕食している。若狭が分布北限で雄島には照葉樹林でアオバハゴロモも多いがアミダテントウは全く見出されていない。（図8）

オシマヒメテントウ *Nephus oshimensis* Sasaji 三国町雄島を基準産地として記載されたもので，最初固有種とされていたが他県からも報告された。アトホシヒメテントウに似ているが，脚・前胸背板側方が黄褐色で，鞘翅斑紋が大きいなどの点で区別される。（図9）

セスジヒメテントウ *Nephus patagiatus* (Lewis) 特に分布が局限されているわけではないが，湿地や海岸に多い種で当該地域からも採集される。（図10）

フタモンクロテントウ *Cryptogonus orbiculus* (Gyllenhal) インド，東南アジア，ミクロネシアから日本暖地にかけて極めて普通なテントウムシで，福井県が北限かと思っていたが，最近「石川県の昆虫」（1998）の目録にも登載されている。（図11）

テントウムシ科の5種のうち4種は「日本動物誌：テントウムシ科」（1971）のために描いた原図を用いたが，図9のオシマヒメテントウは新たに描いた。

### ホソカタムシ科

ベニモンヒラタホソカタムシ *Cicones rufosignatus* Sasaji 高浜町音海産基準標本で1984年に記載された。発表後各地から報告されたが希少種である。体長約2mmで鞘翅に赤紋が3対並ぶ。（図8）

### カミキリモドキ科

フタイロカミキリモドキ *Oedemeronia sexualis* (Marseul) 背面は濃緑色で後脚腿節が黄色の顕著な種で、福井県暖地で割合よく採集されている。体長7-9mm。

### ナガクチキムシ科

ミツボシホソナガクチキ *Abdera trisignata* Champion 小型のナガクチキムシで前胸に1紋、鞘翅に3黒紋があり、体長約3mm。ここにあげた産地は少ないが、暖地性の甲虫である。

### ゴミムシダマシ科

シワナガキマワリ *Strongylium japanum japanum* Marseul 体長16-23mmで大きく、背面は黒く強い金緑色の光沢があり、鞘翅に顕著な横の凹みがある。代表的な暖地性甲虫で福井県が北限とされていたが、最近石川県でも記録された。

### ハムシ科

イチモンジハムシ *Morphosphaera japonica* (Hornstedt) 淡黄色の前胸背板に4個の黒点が並ぶ顕著な種で、鞘翅は黒く藍光沢がある。体長約7mm。イヌビワ、オオイタビを食草とする。食草は暖地の海岸沿の崖などに多生するので、本種は分布地では普通種となっている。福井県が分布北限で、南条町柚山からの記録があるが確かめる必要がある。

### ヒゲナガゾウムシ科

クロオビキノコヒゲナガゾウムシ *Euparius tamui* Nakane 京都府冠島から記載されて、福井県雄島から記録された希少種である。体長約6mm、淡褐色で鞘翅後方に黒色の横帯と小盾板わきに黒斑がある。

### ゾウムシ科

キンケツツヒメゾウムシ *Phaenomerus foveipennis* (Morimoto) 台湾、南西諸島から九州、本州暖地にかけて分布する細長く奇態を示す希少種で最近福井から初めて採集された。

ボウサンクチカクシゾウムシ *Catabonops monachus* Roelofs

ダルマクチカクシゾウムシ *Darumazo distinctus* Morimoto et Miyakawa

チビクチカクシゾウムシ *Deiradocranus setosus* (Morimoto)

ヒサゴクチカクシゾウムシ *Simulatacallus simulator* (Roelofs,)

上の4種は小形で色彩も地味であり見ばえのしない甲虫であるが、いずれも照葉樹に関連した地域から知られる。ボウサンクチカクシゾウとヒサゴクチカクシゾウは照葉樹から良く採れる普通種である。チビクチカクシゾウはそれほど珍しいものではないが体長1.5mmと小さなものなのであまり記録に上って来ない。ダルマクチカクシゾウは1985年新属新種として森本・宮川によって記載されたもので、南西諸島、伊豆諸島、台湾以外では九州（長崎）と三重県からの記録があった。上野（1992）は御神島、烏辺島から報告したが、ほかに既報がないとすれば極端な飛び石北限記録である。

## 考 察

福井県日本海域島嶼と半島域の甲虫相を生物地理学的に取扱った。その基本データはその地域における種の構成（目録）である。それぞれの島の昆虫相は独立した母集団であるから、本報で取扱った甲虫類の種数は必ずしも全体の生態系を代表するものではない。しかし、場合によっては普遍種の欠除が重要な意味を持っていたり、全般的な種構成に大切だったりするので全種を目録とした。74科770種となった。福井県の甲虫類の種数は約3150種（印刷中の目録による）であるから、かなり高い解明



度ということが出来る。ただし，それは，島嶼・半島部を合わせた数であって，それぞれの島嶼でそれだけの解明度があるわけではない。

そのような調査精度の問題があるにせよ，大きく2つのことが指摘される。第1には緯度の相違以上に暖地性昆虫の北上分布が著しいことである。そしてその傾向は種ごとに異なり，植生との共生関係が認められる。もう一つは，島嶼という小さな生態系と関連して固有の種の個体群があった。中にはその島固有の分化をとげた種があるかもしれないが，島であるがゆえに新種として発見され，実は他地でも珍奇な種として見つかったというようなケースである。

本報告誌3号で湿地の保全に関連して敦賀市中池見湿地の昆虫相を取上げたが，小さな島の生物環境は湿地と同様にこわれやすい。例えば0.02km<sup>2</sup>の蒼島の自然は今にも消えかねない。御神島は現在福井県における最高の自然度を誇る島といっても過言ではないが，その美しい自然を子孫に残すことが私たちの責任であろう。

## 福井県日本海地域の甲虫目録

### ヒゲブトオサムシ科

1. エグリゴミムシ  
三方町：鳥辺島，小浜町：蒼島，大飯町：冠者島，高浜町：鷹島。

### オサムシ科

1. マヤサンオサムシ  
三方町：常神。
2. ナガヒョウタンゴミムシ  
三国町：雄島。
3. コヒメヒョウタンゴミムシ  
三国町：雄島。
4. アトモンミズギワゴミムシ  
三国町：雄島。
5. キイロセマルミズギワゴミムシ  
高浜町：音海。
6. ウスイロコミズギワゴミムシ  
三国町：雄島。
7. クロチビカワゴミムシ  
高浜町：音海。
8. マエグロコミズギワゴミムシ  
三国町：雄島。
9. オオゴミムシ  
三国町：雄島。
10. コガシラナガゴミムシ  
大飯町：冠者島。
11. アシミゾナガゴミムシ  
三国町：松島。
12. ルリヒラタゴミムシ  
高浜町：音海。
13. セアカヒラタゴミムシ  
三国町：松島。
14. フトクチヒゲヒラタゴミムシ  
三国町：松島。
15. オオヒラタゴミムシ  
三国町：松島。

16. マルガタツヤヒラタゴミムシ  
三国町：松島，高浜町：音海。
17. オオマルガタゴミムシ  
三国町：松島。
18. ヒョウゴマルガタゴミムシ  
三国町：松島。
19. オオゴモクムシ  
三国町：雄島。
20. オオズケゴモクムシ  
三国町：松島。
21. ケウスゴモクムシ  
三国町：松島。
22. ウスアカクロゴモクムシ  
三国町：松島，三方町：鳥辺島
23. コゴモクムシ  
三国町：松島。
24. ケゴモクムシ  
三国町：雄島。
25. クビナガゴモクムシ  
三国町：雄島。
26. オオクロツヤゴモクムシ  
三国町：雄島。
27. クビアカツヤゴモクムシ  
三国町：松島。
28. オオズヒメゴモクムシ  
三国町：松島。
29. ナガマメゴモクムシ  
三国町：松島。
30. スナハラゴモクムシ  
高浜町：音海。
31. オオスナハラゴモクムシ  
三国町：雄島，松島。
32. ニッポンヨツボシゴミムシ  
三国町：松島。
33. ヨツボシゴミムシ  
三国町：松島。

34. オオアトボシアオゴミムシ  
三国町：松島。
35. アトボシアオゴミムシ  
三国町：松島。高浜町：音海。
36. アオゴミムシ  
三国町：松島。
37. キボシアオゴミムシ  
三国町：雄島。
38. スジアオゴミムシ  
三国町：松島。
39. クロズホナシゴミムシ  
高浜町：音海。
40. キガシラアオアトキリゴミムシ  
三国町：雄島。三方町：常神。高浜町：音海。
41. アオアトキリゴミムシ  
三国町：雄島。
42. ヤセアトキリゴミムシ  
高浜町：音海。
43. ベーツホソアトキリゴミムシ  
(コホソアトキリゴミムシ)  
三方町：御神島。
44. キクビアオアトキリゴミムシ  
三国町：雄島。
45. フタホシアトキリゴミムシ  
三方町：常神。
46. ホシハネヒロアトキリゴミムシ  
三方町：常神。高浜町：音海。
47. ヤホシゴミムシ  
三方町：常神。
48. クロヘリアトキリゴミムシ  
三国町：雄島。小浜市：蒼島。高浜町：音海。
49. キイロアトキリゴミムシ  
三方町：音海。
50. フタホシスジバネゴミムシ  
三国町：雄島。

ホソクビゴミムシ科

1. オオホソクビゴミムシ  
三国町：雄島，松島。

ゲンゴロウ科

1. マルチビゲンゴロウ  
三国町：安島。
2. チビゲンゴロウ  
三国町：安島。
3. ヒメケシゲンゴロウ  
三国町：安島。
4. チャイロチビゲンゴロウ  
三国町：雄島。
5. ツブゲンゴロウ  
三国町：安島。
6. コウベツゲンゴロウ  
三国町：安島。
7. クロズマメゲンゴロウ  
三国町：安島。

8. テラニシセスジゲンゴロウ  
三国町：雄島。希少種。
9. オオヒメゲンゴロウ  
三国町：安島。
10. ヒメゲンゴロウ  
三国町：雄島。
11. ハイイロゲンゴロウ  
三国町：雄島，安島。

ガムシ科

1. セマルマグソガムシ  
三国町：雄島。
2. コウセンマルケシガムシ  
三国町：雄島。

エンマムシ科

1. アカツブエンマムシ  
三方町：烏辺島。
2. チビクロエンマムシ  
大飯郡：犬見。
3. チュウジョウチビエンマムシ  
大飯郡：犬見。
4. キノコセスジエンマムシ  
高浜町：鷹島。
5. コツヤエンマムシ  
大飯郡：犬見。
6. エンマムシ  
大飯郡：犬見。
7. ニセヒメナガエンマムシ  
小浜市：蒼島。

シデムシ科

1. クロシデムシ  
三国町：松島。
2. ヨツボシモンシデムシ  
三国町：松島。
3. チョウセンベッコウヒラタシデムシ  
高浜町：鷹島。
4. オオヒラタシデムシ  
三国町：雄島，松島。
5. ベッコウヒラタシデムシ  
三国町：雄島。

ハネカクシ科

1. ヒラタハネカクシ  
三国町：雄島。
2. オオマルズハネカクシ  
三国町：雄島。
3. クロコガシラハネカクシ  
三国町：松島。
4. ヒゲナガコガシラハネカクシ  
三方町：常神。
5. クロガネハネカクシ  
三国町：雄島。
6. カタモンハネカクシ



- 三方町:常神.  
7. ムナビロハネカクシ  
三国町:雄島.  
8. クロヒゲキノコハネカクシ  
高浜町:音海.  
9. クロズシリホソハネカクシ  
高浜町:音海.  
10. キイロマルケシハネカクシ  
三国町:雄島, 高浜町:音海.

アリヅカムシ科

1. ヒゲプトムネトゲアリヅカムシ  
高浜町:音海.  
2. *Bryaxis frontalis* Jeannel  
高浜町:音海.  
3. ヒゲプトエクボアリヅカムシ  
小浜市:蒼島.

コケムシ科

1. シリプトヒメコケムシ  
三国町:雄島.

デオキノコムシ科

1. アカグロケシデオキノコムシ  
高浜町:音海.  
2. ガロアケシデオキノコムシ  
高浜町:音海.  
3. コーラケシデオキノコムシ  
高浜町:音海.

マルハナノミ科

1. マルチビマルハナノミ  
高浜町:鷹島.  
2. フトチビマルハナノミ  
三方町:烏辺島.  
3. キムネマルハナノミ  
三方町:常神, 小浜市:蒼島, 高浜町:音海.

クワガタムシ科

1. チビクワガタ  
小浜市:蒼島, 高浜町:鷹島. 従来名田庄村頭巾山が北限分布記録であったが蒼島(上野, 1987), 鷹島(井上, 1996)から採集され北限を更新した.  
2. ミヤマクワガタ  
三国町:雄島, 三方町:御神島.  
3. スジクワガタ  
三国町:雄島, 三方町:烏辺島.  
4. ノコギリクワガタ  
三国町:雄島.  
5. ヒラタクワガタ  
三国町:雄島.

コガネムシ科

1. マメダルマコガネ

- 三方町:烏辺島, 小浜市:児島, 高浜町:鷹島.  
2. コブマルエンマコガネ  
三国町:雄島.  
3. ツヤエンマコガネ  
三国町:松島.  
4. クロツツマグソコガネ  
三方町:烏辺島, 御神島, 小浜市:蒼島, 高浜町:音海, 鷹島. 通常は珍しい昆虫であるが, 島嶼・海岸で良く採れている. 海鳥の糞と関連があるのかもしれない.  
5. ナガチャコガネ  
三国町:雄島, 小浜市:児島, 高浜町:音海.  
6. マルオクロコガネ  
三国町:松島.  
7. コクロコガネ  
大飯町:犬見.  
8. クリイロコガネ  
三国町:松島, 大飯町:犬見.  
9. マルガタビロウドコガネ  
三国町:雄島.  
10. ヤマトビロウドコガネ  
高浜町:音海.  
11. コイチャコガネ  
高浜町:音海.  
12. アオドウガネ  
三国町:雄島.  
13. ドウガネブイブイ  
三国町:雄島.  
14. サクラコガネ  
三国町:雄島.  
15. ヤマトアオドウガネ  
三国町:雄島.  
16. ツヤコガネ  
三国町:雄島.  
17. ヒメコガネ  
三国町:雄島.  
18. セマグラコガネ  
三国町:雄島.  
19. コガネムシ  
三国町:雄島.  
20. スジコガネ  
三国町:雄島.  
21. マメコガネ  
三国町:雄島.  
22. ヒラタハナムグリ  
三国町:雄島, 美浜町:菅浜, 高浜町:風島, 音海.  
23. ヒメトラハナムグリ  
高浜町:音海.  
24. ハナムグリ  
三国町:雄島.  
25. アオハナムグリ  
三国町:雄島, 高浜町:音海.  
26. コアオハナムグリ  
三国町:雄島, 大飯町:浦底, 高浜町:音海.

27. キョウトアオハナムグリ  
三方町：鳥辺島，希少種である。
28. シロテンハナムグリ  
三国町：雄島，敦賀市：白木，美浜町：菅浜。
29. カナブン  
三国町：雄島，美浜町：菅浜，三方町：御神島。
30. アオカナブン  
美浜町：菅浜。
31. コカブトムシ  
三国町：雄島。

マルトゲムシ科

1. シラフチビマルトゲムシ  
三国町：松島。

ナガハナノミ科

1. エダヒゲナガハナノミ  
美浜町：菅浜，三方町：常神。
2. オオメコヒゲナガハナノミ  
三国町：雄島，高浜町：風島。
3. コヒゲナガハナノミ  
高浜町：音海。

タマムシ科

1. ヒメヒラタタマムシ  
三国町：雄島，大飯町：浦底，高浜町：音海。
2. クロタマムシ  
大飯町：犬見。
3. ウバタマムシ  
三国町：雄島，高浜町：音海。
4. ツシマムツボシタマムシ  
高浜町：音海。次種に似るが分布が局限される。
5. ムツボシタマムシ  
大飯町：犬見。
6. アオマダラタマムシ  
三方町：御神島，常神，高浜町：音海。
7. ヒシモンナガタマムシ  
三国町：雄島，高浜町：音海。
8. ツヤケシナガタマムシ  
高浜町：音海。
9. シラケナガタマムシ  
大飯町：犬見。
10. ネムノキナガタマムシ  
三方町：御神島，高浜町：音海。
11. ウグイスナガタマムシ  
高浜町：和田。
12. アオグロナガタマムシ  
高浜町：音海。
13. コクロナガタマムシ  
高浜町：音海。
14. クロケシタマムシ  
三国町：雄島，希少種。
15. シラビオナカボソタマムシ  
高浜町：音海。
16. キンイロエグリタマムシ

小浜市：蒼島。

17. ムネアカチビナカボソタマムシ  
大飯町：犬見，高浜町：音海，暖地性昆虫で能登が北限。
18. ホソツツタマムシ  
三国町：雄島。
19. ハイイロヒラタチビタマムシ  
美浜町：菅浜。
20. クズノチビタマムシ  
美浜町：菅浜，高浜町：風島。
21. コウゾチビタマムシ  
高浜町：音海。
22. ナミガタチビタマムシ  
三方町：御神島，高浜町：音海。
23. ウメチビタマムシ  
大飯町：犬見。
24. ヤナギチビタマムシ  
大飯町：浦底。
25. サシゲチビタマムシ  
小浜市：児島，高浜町：音海，代表的な暖地性昆虫で敦賀半島が北限であったが最近福井市二上で発見された。ウラジログシにつく。（図6）
26. ソーンドーズチビタマムシ  
高浜町：音海。
27. アカガネチビタマムシ  
高浜町：音海。
28. ダンダラチビタマムシ  
美浜町：菅浜。
29. ヤノナミガタチビタマムシ  
三方町：世久津。

コメツキムシ科

1. ヒゲコメツキ  
三国町：雄島，高浜町：音海。
2. シロオビチビサビキコリ  
三方町：常神，小浜市：蒼島，高浜町：音海。
3. ウバタマコメツキ  
三国町：雄島，小浜市：蒼島。
4. フタモンウバタマコメツキ  
小浜市：蒼島，高浜町：音海，暖地性の大型種である。
5. オオクシヒゲコメツキ  
三国町：雄島。
6. シモフリコメツキ  
三方町：常神
7. スズキシモフリコメツキ  
三国町：雄島。
8. メダカツヤハダコメツキ  
三国町：雄島。
9. クロツヤハダコメツキ  
三国町：雄島。
10. コクロツヤハダコメツキ  
高浜町：音海。
11. ルリツヤハダコメツキ  
美浜町：菅浜，高浜町：音海。



12. ヒメクロコメツキ  
高浜町：音海。
13. ハラアカクロコメツキ  
敦賀市：常宮。高浜町：音海。
14. アカアシクロコメツキ  
高浜町：音海。
15. クリイロアシブトコメツキ  
三国町：雄島。高浜町：音海。
16. キバネホソコメツキ  
敦賀市：常宮。美浜町：菅浜。三方町：常神。  
小浜市：蒼島。高浜町：音海。風島。
17. アラハダチャイロコメツキ  
高浜町：音海。
18. ヨツキボシコメツキ  
三方町：常神。
19. オオナガコメツキ  
三国町：雄島。三方町：御神島。
20. チャイロコメツキ  
三国町：雄島。
21. ヒゲナガコメツキ  
小浜市：蒼島。高浜町：音海。
22. フトナガコメツキ  
高浜町：音海。
23. クロツヤクシコメツキ  
三国町：雄島。小浜市：児島。高浜町：風島。
24. マルクビクシコメツキ  
三国町：雄島。
25. アカアシオオクシコメツキ  
三国町：雄島。三方町：常神。高浜町：音海。
26. ヒラタクロクシコメツキ  
三国町：雄島。三方町：常神。小浜市：蒼島。  
高浜町：音海。
27. コガタクシコメツキ  
三国町：雄島。三方町：常神。高浜町：音海。
28. ヒラタクシコメツキ  
高浜町：音海。
29. ヒメクシコメツキ  
高浜町：音海。
30. クシコメツキ  
三国町：雄島。
31. ルイスクシコメツキ  
三国町：雄島。高浜町：音海。
32. クロクシコメツキ  
三国町：雄島。小浜市：蒼島。
33. ナガチャクシコメツキ  
三国町：雄島。
34. チビミズギワコメツキ  
高浜町：音海。
35. ニホンチビマメコメツキ  
三方町：常神。高浜町：音海。
36. マルマメコメツキ  
三方町：常神。高浜町：音海。
37. ニセニホンチビマメコメツキ  
高浜町：音海。
38. アカアシコハナコメツキ

三国町：雄島。

39. アカアシハナコメツキ  
小浜市：蒼島。大飯町：冠者島。三方町：鳥  
辺島。

#### ヒゲブトコメツキ科

1. ナガヒゲブトコメツキ  
三方町：御神島。小浜市：児島。
2. ミカドヒゲブトコメツキ  
三国町：松島。新保。雄島。

#### コメツキダマシ科

1. オニコメツキダマシ  
高浜町：音海。
2. コチャイロコメツキダマシ  
三国町：雄島。
3. ナガミゾコメツキダマシ  
高浜町：音海。

#### ベニボタル科

1. ムネクリイロボタル  
三方町：鳥辺島。小浜市：児島。
2. フトベニボタル  
大飯町：浦底。
3. カクムネベニボタル  
高浜町：音海。
4. クロハナボタル  
三国町：雄島。高浜町：音海。

#### ホタル科

1. ムネクリイロボタル  
三国町：雄島。小浜市：児島。
2. カタモンミナミボタル  
高浜町：音海。

#### ジョウカイボン科

1. ジョウカイボン  
美浜町：菅浜。
2. セボシジョウカイ  
三国町：雄島。高浜町：音海。
3. アオジョウカイ  
美浜町：菅浜。

#### カツオブシムシ科

1. カドムネカツオブシムシ  
高浜町：鷹島。
2. ケアカカツオブシムシ  
三方町：御神島。
3. ベニモンチビカツオブシムシ  
三方町：鳥辺島。御神島。高浜町：音海。
4. ヨツモンチビカツオブシムシ  
高浜町：鷹島。
5. クロヒゲブトカツオブシムシ  
三方町：常神。高浜町：音海。
6. カマキリタマゴカツオブシムシ

- 三国町：雄島，三方町：烏辺島，御神島。  
7. チビケカツオブシムシ  
小浜市：蒼島。

ナガシンクイムシ科

1. クロヒメナガシンクイ  
高浜町：音海。  
2. ガロアヒメナガシンクイ  
美浜町：菅浜。

シバンムシ科

1. ヒメトサカシバンムシ  
美浜町：水晶浜，小浜市：蒼島。  
2. コガタマツシバンムシ  
三国町：雄島。  
3. ツツガタシバンムシ  
三国町：雄島，三方町：御神島，高浜町：音海。  
4. ヒメツツガタシバンムシ  
三国町：雄島，雄島が基準産地である。  
5. フルホンシバンムシ  
高浜町：音海。  
6. ジンサンシバンムシ  
三国町：雄島。  
7. クロトサカシバンムシ  
三方町：常神。  
8. ケモンセスジシバンムシ  
三国町：雄島，高浜町：音海，照葉樹林に特異的に多産する。  
9. クリイロタマキノコシバンムシ  
小浜市：蒼島。  
10. クロマルチビシバンムシ  
(ヒメホコリタケシバンムシ)  
高浜町：音海。  
11. ツガタケミゾキノコシバンムシ  
三方町：御神島。

コクヌスト科

1. オオコクヌスト  
美浜町：菅浜。  
2. ハロルドヒメコクヌスト  
高浜町：音海。

カッコウムシ科

1. ホソカッコウムシ  
高浜町：音海。  
2. イガラシカッコウムシ  
美浜町：菅浜，高浜町：音海。  
3. ヨツモンチビカッコウムシ  
高浜町：音海。  
4. キオビナガカッコウムシ  
三方町：烏辺島，御神島。  
5. ムナグロナガカッコウムシ  
三方町：常神，御神島。  
6. クロダンガラカッコウムシ  
敦賀市：立石。

7. ダンガラカッコウムシ  
美浜町：水晶浜，菅浜。  
8. アリモドキカッコウムシ  
三国町：松島，美浜町：菅浜。  
9. ツマグロツツカッコウムシ  
高浜町：音海。  
10. キムネツツカッコウムシ  
高浜町：音海。

ジョウカイモドキ科

1. コケシジョウカイモドキ  
小浜市：蒼島。  
2. コアオジョウカイモドキ  
三国町：雄島，高浜町：音海。  
3. ホソヒメジョウカイモドキ  
三国町：雄島，三方町：常神，小浜市：蒼島，大飯町：浦底。  
4. クギヌキヒメジョウカイモドキ  
敦賀市：常宮。  
5. キアシオビジョウカイモドキ  
三国町：雄島，大飯町：浦底。  
6. ツマキアオジョウカイモドキ  
美浜町：菅浜，三方町：世久津。  
7. ヒメジョウカイモドキ  
高浜町：音海。

ケシキスイ科

1. クロチビハナケシキスイ  
三国町：雄島。  
2. キイロチビハナケシキスイ  
三国町：雄島，高浜町：風島。  
3. クロハナケシキスイ  
三国町：雄島，三方町：常神，高浜町：音海。  
4. クリイロデオケシキスイ  
敦賀市：白木。  
5. ドウイロムクゲケシキスイ  
三方町：烏辺島，高浜町：音海。  
6. コクロムクゲケシキスイ  
三方町：常神。  
7. キバナガヒラタケシキスイ  
三方町：常神，御神島。  
8. カクホソヒラタケシキスイ  
三国町：雄島。  
9. マメヒラタケシキスイ  
高浜町：音海。  
10. ツヤチビヒラタケシキスイ  
小浜市：蒼島。  
11. クロヒラタケシキスイ  
美浜町：菅浜。  
12. キボシヒラタケシキスイ  
高浜町：鷹島。  
13. アミモンヒラタケシキスイ  
美浜町：菅浜，三方町：御神島。  
14. ウスオビカクケシキスイ  
三国町：雄島，美浜町：菅浜，三方町：御神島。



15. クロイキマダラケシキスイ

美浜町: 水晶浜.

16. マルキマダラケシキスイ

三国町: 雄島. 三方町: 烏辺島. 小浜市: 児島, 蒼島. 高浜町: 鷹島.

17. ムネアカチビケシキスイ

三国町: 雄島.

18. ツツオニケシキスイ

美浜町: 水晶浜, 菅浜.

ネスイムシ科

1. オバケデオデスイ

三国町: 雄島. 小浜市: 蒼島. 高浜町: 音海.

2. ヤマトネスイ

美浜町: 菅浜.

ヒメハナムシ科

1. アシナガヒメハナムシ

三国町: 雄島.

2. トビイロヒメハナムシ

三方町: 常神.

3. チャイロズマルヒメハナムシ

三国町: 雄島. 三方町: 御神島.

4. ヨコスジチビヒメハナムシ

高浜町: 音海.

5. エムモンチビヒメハナムシ

三国町: 雄島. 敦賀市: 常宮. 高浜町: 音海.

ヒメキノコムシ科

1. マルヒメキノコムシ

小浜市: 蒼島.

ヒラタムシ科

1. ペニヒラタムシ

美浜町: 菅浜.

チビヒラタムシ科

1. サビカクムネチビヒラタムシ

三国町: 雄島.

2. キボシチビヒラタムシ

美浜町: 菅浜.

3. ホソチビヒラタムシ

高浜町: 音海. 音海産が副基準標本. (図1)

4. ムナクボホソチビヒラタムシ

三国町: 雄島. 雄島産標本を副基準標本として記載された. (図2)

5. オオキバチビヒラタムシ

小浜市: 蒼島.

6. モンチビヒラタムシ

美浜町: 水晶浜, 菅浜.

7. ルイスチビヒラタムシ

三国町: 雄島. 美浜町: 水晶浜, 菅浜. 三方町: 烏辺島.

8. クロホシチビヒラタムシ

美浜町: 水晶浜.

9. アカヒゲチビヒラタムシ

小浜市: 児島.

10. セマルチビヒラタムシ

三国町: 雄島. 美浜町: 水晶浜, 菅浜. 小浜市: 蒼島.

ツツヒラタムシ科

1. ツツヒラタムシ

美浜町: 水晶浜, 菅浜. (図3)

ホソヒラタムシ科

1. ホソヒラタキスイ

三国町: 雄島. 小浜市: 蒼島.

2. フタトゲホソヒラタムシ

美浜町: 菅浜.

3. ヒメフタトゲホソヒラタムシ

三国町: 雄島.

4. ミツモンセマルヒラタムシ

三国町: 雄島. 敦賀市: 常宮. 高浜町: 音海.

5. クロムネキカワヒラタムシ

美浜町: 菅浜.

6. ヒメヒラタムシ

三方町: 常神.

キシムシ科

1. ウスイロキシイ

小浜市: 蒼島. 高浜町: 風島.

2. ニホンヒゲブトキシイ

高浜町: 音海.

3. ササマルキシイ

敦賀市: 常宮. 美浜町: 菅浜.

4. キイロセマルキシイ

三国町: 雄島.

5. ナガマルキシイ

高浜町: 音海.

オオキシムシ科

1. ヨツボシオオキシイ

美浜町: 菅浜.

キシイモドキ科

1. キスイモドキ

美浜町: 菅浜.

ムクゲキシイ科

1. ムナビロムクゲキシイ

三方町: 烏辺島. 小浜市: 蒼島. 土壌性の少ない種である.

2. ケマグラムクゲキシイ

美浜町: 水晶浜, 菅浜.

3. カタモンムクゲキシイ

美浜町: 菅浜.

4. クロアシムクゲキシイ

美浜町: 菅浜.

5. アカグロムクゲキシイ

美浜町：水晶浜，菅浜。

6. ハスモンムクゲキスイ

美浜町：水晶浜，菅浜。三方町：烏辺島。

7. ペニモンムクゲキスイ

美浜町：水晶浜，菅浜。

5. クリイロムクゲキスイ

美浜町：水晶浜，菅浜。三方町：烏辺島。高浜町：鷹島。

コメツキモドキ科

1. ケナガマルキスイ

三国町：雄島，安島。三方町：常神，烏辺島。

2. ツマグロヒメコメツキモドキ

三国町：雄島。三方町：常神，御神島。高浜町：音海。

3. ケシコメツキモドキ

三方町：常神。

オオキノコムシ科

1. カタモンオオキノコ

三国町：雄島。美浜町：菅浜。小浜市：児島。

2. アカハバヒロオオキノコ

高浜町：音海。

3. ホソチビオオキノコ

美浜町：菅浜。三方町：御神島。高浜町：風島。

4. ミツボシオオキノコ

高浜町：音海。

5. クロチビオオキノコ

三方町：食見。

6. セモンソソオオキノコ

三国町：雄島。三方町：烏辺島，御神島。

7. ヒメオビオオキノコ

三国町：雄島。

ムキヒゲホソカタムシ科

1. アトキツツホソカタムシ

美浜町：菅浜。希少種。

2. クロツヤツツホソカタムシ

美浜町：菅浜。希少種。

ミジンムシ科

1. チャイロミジンムシ

三国町：雄島。三方町：常神，御神島。高浜町：音海。

2. ナカグロミジンムシ

三国町：雄島。三方町：常神，烏辺島。小浜市：蒼島。大飯町：冠者島。高浜町：音海，鷹島。

3. マエキミジンムシ

美浜町：菅浜。

4. ペニモンツヤミジンムシ

敦賀市：常宮。小浜市：蒼島。

5. ムクゲミジンムシ

三国町：雄島。

テントウムシダマシ科

1. トウヨウダナエテントウダマシ

小浜市：児島。

2. チャイロケブカテントウダマシ

高浜町：音海。希少種。

3. チャバネムクゲテントウダマシ

高浜町：音海。希少種。

4. イカリモンテントウダマシ

高浜町：音海。

マルテントウダマシ科

1. コマルガタテントウダマシ

三方町：烏辺島。小浜市：蒼島。高浜町：音海。希少種。

2. ダエンテントウダマシ

三国町：雄島。雄島が基準産地である。(図4)

テントウムシ科

1. クロツヤテントウ

高浜町：鷹島。

2. クロヘリメツブテントウ

高浜町：音海。福井県から音海と名田庄村虫谷から記録され，分布北限の希少種。(図7)

3. アミダテントウ

三方町：常神，神子，烏辺島，御神島。上中町：児島。小浜市：蒼島。大飯町：冠者島。高浜町：音海，鷹島，風島。若狭湾島嶼・半島部に特異的に多産する。(図8)

4. フタホシテントウ

三国町：雄島，松島，安島。美浜町：菅浜。敦賀市：常宮。三方町：常神，烏辺島，御神島。大飯町：冠者島。高浜町：音海，鷹島，風島。

5. オシマヒメテントウ

三国町：雄島。雄島を基準産地として新種記載されたもので，その後新潟県，埼玉県，和歌山県からも記録された。アトホシテントウの近縁種。(図9)

6. セスジヒメテントウ

三国町：雄島。三方町：常神，烏辺島。高浜町：音海。(図10)

7. アトホシヒメテントウ

三国町：雄島。美浜町：菅浜。三方町：音海，御神島，烏辺島。

8. ヨツモンヒメテントウ

高浜町：風島。

9. ハレヤヒメテントウ

三国町：安島。三方町：常神，烏辺島，御神島。小浜市：児島。大飯町：冠者島。高浜町：音海，鷹島，風島。

10. ナカネヒメテントウ

三国町：雄島。希少種。

11. セボンヒメテントウ

高浜町：音海。希少種。

12. ババヒメテントウ

高浜町：鷹島。



13. クロヘリヒメテントウ  
三国町: 雄島, 安島.
14. チュウジョウヒメテントウ  
美浜町: 菅浜. 高浜町: 音海.
15. ツマアカヒメテントウ  
三方町: 常神.
16. オニヒメテントウ  
三方町: 常神.
17. クロヒメテントウ  
美浜町: 菅浜.
18. カワムラヒメテントウ  
三国町: 雄島, 敦賀市: 常宮, 三方町: 常神.
19. コクロヒメテントウ  
三国町: 雄島, 三方町: 烏辺島, 常神, 小浜市: 児島, 蒼島, 大飯町: 冠者島, 高浜町: 音海, 鷹島, 風島.
20. ニセツマアカヒメテントウ  
三国町: 雄島.
21. ナガヒメテントウ  
高浜町: 音海.
22. ヒメアカホシテントウ  
三国町: 雄島, 小浜市: 児島, 大飯町: 冠者島, 高浜町: 鷹島, 音海.
23. アカホシテントウ  
小浜市: 児島, 高浜町: 音海.
24. フタモンクロテントウ  
三国町: 雄島, 美浜町: 菅浜, 三方町: 食見, 高浜町: 音海. (図11)
25. ヨツボシテントウ  
三方町: 世久津, 音海.
26. クロテントウ  
三国町: 雄島, 三方町: 御神島, 小浜市: 蒼島, 大飯町: 冠者島, 高浜町: 鷹島, 音海.
27. ベダリアテントウ  
大飯町: 冠者島.
28. アカイロテントウ  
三国町: 雄島, 三方町: 御神島.
29. ベニヘリテントウ  
三国町: 雄島, 三方町: 常神, 烏辺島, 御神島, 小浜市: 児島, 大飯町: 冠者島, 高浜町: 鷹島, 風島, 音海.
30. アカヘリテントウ  
三方町: 世久津.
31. シロジュウシホシテントウ  
高浜町: 音海.
32. ムーアシロホシテントウ  
三方町: 音海, 御神島.
33. ナナホシテントウ  
三方町: 常神.
34. ナミテントウ  
三国町: 雄島, 美浜町: 菅浜, 三方町: 食見, 世久津, 音海.
35. クリサキテントウ  
敦賀市: 気比の松原, 高浜町: 音海.
36. キイロテントウ

- 三国町: 雄島, 敦賀市: 常宮, 三方町: 常神, 世久津, 高浜町: 音海.
37. ムツキボシテントウ  
三国町: 安島, 海浜公園.
38. ヒメカメノコテントウ  
三国町: 雄島, 美浜町: 菅浜, 三方町: 烏辺島, 高浜町: 音海.
39. シロホシテントウ  
美浜町: 菅浜, 大飯町: 浦底.
40. ニジュウヤホシテントウ  
三方町: 御神島.

#### ミジンムシダマシ科

1. クロミジンムシダマシ  
美浜町: 水晶浜, 三方町: 烏辺島, 御神島, 小浜市: 蒼島, 高浜町: 鷹島.

#### ヒメマキムシ科

1. ウスチャヒメマキムシ  
三国町: 雄島.
2. ヤマトケシマキムシ  
三国町: 雄島, 大飯町: 冠者島.
3. ヒメマキムシ  
三国町: 雄島.

#### ホソカタムシ科

1. ベニモンヒメヒラタホソカタムシ  
高浜町: 音海. 希少種で音海が基準産地. (図8)
2. ノコギリホソカタムシ  
三方町: 御神島.
3. ルイスホソカタムシ  
美浜町: 水晶浜.
4. ツヤナガヒラタホソカタムシ  
小浜市: 児島, 蒼島.
5. ホソマダラホソカタムシ  
高浜町: 音海.

#### コキノコムシ科

1. コモンヒメキノコムシ  
美浜町: 水晶浜, 菅浜.
2. アカバヒゲボソコキノコムシ  
高浜町: 音海.

#### ツツキノコムシ科

1. フタオビツツキノコムシ  
三方町: 烏辺島.
2. マダラツツキノコムシ  
三国町: 雄島, 三方町: 烏辺島, 高浜町: 鷹島.

#### ナガクチキムシ科

1. ヨツボシヒメナガクチキ  
美浜町: 水晶浜.
2. サビノミナガクチキ  
三方町: 烏辺島, 御神島. 次種とともに腐植土壤中に生息する.

3. チビノミナガクチキ  
三方町：鳥辺島，御神島。
4. コイチャニセハナノミ  
小浜市：児島。
5. カバイロニセハナノミ  
高浜町：音海。
6. ミツボンホソナガクチキ  
高浜町：音海。
7. ズカクシナガクチキ  
高浜町：音海。希少種。
8. ボウズナガクチキ  
高浜町：音海。
9. フタモンヒメナガクチキ  
三国町：雄島。敦賀市：常宮，立石岬。三方町：常神。小浜市：蒼島。高浜町：風島，音海。
10. オオクロホソナガクチキ  
美浜町：水晶浜。
11. ヒメナガクチキ  
高浜町：音海。

ハナノミ科

1. ナミアカヒメハナノミ  
三国町：雄島。高浜町：音海。
2. タカオヒメハナノミ  
高浜町：音海。
3. フタモンヒメハナノミ  
高浜町：音海。
4. サトウヒメハナノミ  
小浜市：蒼島。
5. チャイロヒメハナノミ  
三国町：雄島。高浜町：音海。
6. シズオカヒメハナノミ  
高浜町：音海。
7. クリヒゲヒメハナノミ  
三国町：雄島。
8. アマミヒメハナノミ  
三国町：雄島。高浜町：音海。
9. トゲナミヒメハナノミ  
高浜町：音海。
10. チャオビヒメハナノミ  
高浜町：音海。
11. チビヒメハナノミ  
三国町：雄島。
12. カグヤヒメヒメハナノミ  
高浜町：音海。
13. フタオビヒメハナノミ  
三国町：雄島。
14. ヤマモトヒメハナノミ  
高浜町：音海。
15. クロヒメハナノミ  
三国町：雄島。
16. アトグロヒメハナノミ  
高浜町：音海。
17. コクロヒメハナノミ  
三国町：雄島。

18. キラクロヒメハナノミ  
高浜町：音海。
19. アワヒメハナノミ  
三国町：雄島。高浜町：音海。

ヒラタナガクチキムシ科

1. ヒメコメツキガタナガクチキムシ  
三国町：雄島。

カミキリモドキ科

1. ズグロカミキリモドキ  
三国町：雄島，安島。
2. ハイイロカミキリモドキ  
三国町：安島，雄島。
3. クロアオカミキリモドキ  
美浜町：菅浜。
4. モモブトカミキリモドキ  
美浜町：菅浜。
5. フタイロカミキリモドキ  
小浜市：蒼島。高浜町：風島。
6. シリナガカミキリモドキ  
高浜町：音海。
7. カトウカミキリモドキ  
三方町：常神。高浜町：音海。
8. キバネカミキリモドキ  
三国町：雄島。

アリモドキ科

1. アカクビボソムシ  
大飯町：冠者島。
2. モモキアリモドキ  
高浜町：音海。
3. クロチビアリモドキ  
美浜町：菅浜。高浜町：音海。
4. ヘリアカアリモドキ  
美浜町：菅浜。
5. アカホソアリモドキ  
三方町：常神。小浜市：蒼島。

ニセクビボソムシ科

1. マダラニセクビボソムシ  
小浜市：児島。大飯町：冠者島。高浜町：音海。
2. ホソニセクビボソムシ  
三国町：雄島。小浜市：蒼島。
3. オビモンニセクビボソムシ  
三国町：雄島。

ツチハンミョウ科

1. キイロゲンセイ  
三国町：松島。

ハナノミダマシ科

1. キイロフナガタハナノミ  
三方町：常神，御神島。
2. クロフタガタハナノミ



敦賀市：白木，三方町：常神，高浜町：音海，

3. ヒメハナノミダマシ

三方町：烏辺島，御神島，

チビキカワムシ科

1. ツヤチビキカワムシ

三方町：常神，

2. コチビキカワムシ

高浜町：音海，

3. ムネアカチビキカワムシ

三国町：雄島，

4. クチナガチビキカワムシ

美浜町：菅浜，

ハムシダマシ科

1. アオハムシダマシ

高浜町：音海，

2. ハムシダマシ

美浜町：菅浜，大飯町：浦底，高浜町：音海，

3. フジハムシダマシ

高浜町：音海，

4. ナガハムシダマシ

高浜町：音海，

5. アラメヒゲブトゴミムシダマシ

三方町：常神，高浜町：鷹島，風島，

6. ヒゲブトゴミムシダマシ

高浜町：音海，

クチキムシ科

1. オオクチキムシ

三国町：雄島，美浜町：菅浜，三方町：御神島，

2. クチキムシ

敦賀市：白木，美浜町：菅浜，小浜市：蒼島，  
大飯町：冠者島，高浜町：風島，

3. ヒメオオクチキムシ

美浜町：菅浜，

4. ホソクロクチキムシ

三方町：常神，高浜町：音海，

5. ウスイロクチキムシ

三方町：常神，高浜町：音海，

6. ホソアカクチキムシ

高浜町：風島，音海，

7. トビイロクチキムシ

三国町：雄島，大飯町：冠者島，

8. アカバネツヤクチキムシ

高浜町：音海，

9. フナガタクチキムシ

小浜市：児島，

10. カタモンヒメクチキムシ

三方町：烏辺島，

ゴミムシダマシ科

1. コスナゴミムシダマシ

三国町：雄島，

2. ヒメスナゴミムシダマシ

三方町：常神，

3. ハマヒョウタンゴミムシダマシ

美浜町：松淵，海岸の砂地に生息する，

4. コブスジツノゴミムシダマシ

高浜町：音海，

5. クビカクシゴミムシダマシ

高浜町：音海，

6. ヨツボシゴミムシダマシ

美浜町：菅浜，

7. ヒゴキノコゴミムシダマシ

三国町：雄島，美浜町：菅浜，高浜町：音海，

8. アオツヤキノコゴミムシダマシ

三国町：雄島，高浜町：音海，

9. チビキノコゴミムシダマシ

三国町：雄島，

10. クロテントウゴミムシダマシ

三方町：烏辺島，御神島，小浜市：蒼島，

11. アメイロホソゴミムシダマシ

三国町：雄島，雄島では良く採集されるが一般的には少ない種である，

12. エグリゴミムシダマシ

三国町：雄島，敦賀市：常宮，三方町：御神島，高浜町：鷹島，

13. オオツヤホソゴミムシダマシ

三国町：雄島，

14. コツヤホソゴミムシダマシ

三国町：雄島，

15. ユミアシゴミムシダマシ

小浜市：児島，

16. ズビロキマワリモドキ

三国町：雄島，松島，大飯町：冠者島，高浜町：風島，

17. ルリツヤヒメキマワリモドキ

三方町：御神島，

18. マルムネゴミムシダマシ

三国町：松島，三方町：常神，

19. ヒメマルムネゴミムシダマシ

敦賀市：立石岬，常宮，

20. キマワリ

三国町：雄島，美浜町：菅浜，三方町：烏辺島，御神島，小浜市：児島，高浜町：音海，鷹島，風島，

21. クロツヤキマワリ

三国町：雄島，安島，美浜町：菅浜，

22. ヒメナガキマワリ

高浜町：音海，

23. シワナガキマワリ

小浜市：蒼島，大飯町：浦底，高浜町：音海，  
福井県が分布北西限とされていたが最近石川県  
鹿島の森から記録された，いずれにせよ暖地性  
昆虫として注目される，

24. ハネナシセスジキマワリ

三国町：雄島，三方町：烏辺島，御神島，小  
浜市：児島，蒼島，大飯町：冠者島，

カミキリムシ科

1. ベーツヒラタカミキリ  
三国町：雄島。大飯町：冠者島。
2. ウスバカミキリ  
三国町：雄島。
3. クロカミキリ  
三国町：雄島。松島。小浜市：児島。
4. サビカミキリ  
三国町：雄島。
5. ケプトハナカミキリ  
高浜町：音海。福井県からはほかに青葉山からの記録があり分布北限である。
6. ヒナリハナカミキリ  
敦賀市：立石岬。
7. キバネニセハムシハナカミキリ  
美浜町：菅浜。
8. ムネアカクロハナカミキリ  
大飯町：犬見。
9. ヨツスジハナカミキリ  
美浜町：菅浜。大飯町：浦底。
10. フタオビチビハナカミキリ  
美浜町：菅浜。ヒメハナカミキリ属*Pidonia*は山地においては著しく分化し、福井県だけでも18種が分布するが、島嶼・海岸地域では1種だけが記録されるにすぎない。
11. オガサワラチャイロカミキリ  
三国町：雄島。南西諸島、小笠原諸島に広く分布し、雄島からの分布記録は注目すべきであるが詳細は別記する。分布北西限。
12. ベーツヤサカミキリ  
小浜市：波懸鼻。高浜町：音海。
13. アオスジカミキリ  
高浜町：音海。
14. キイロミヤマカミキリ  
三国町：雄島。
15. トビイロカミキリ  
高浜町：音海。
16. ヨコヤマヒメカミキリ  
三国町：雄島。三方町：御神島。美浜町：菅浜。
17. ヒゲナガヒメカミキリ  
敦賀市：白木。高浜町：音海。
18. アメイロカミキリ  
大飯町：浦底。高浜町：音海。
19. カッコウメダカカミキリ  
高浜町：音海。風島。
20. キイロメダカカミキリ  
高浜町：音海。
21. タイワンメダカカミキリ  
高浜町：音海。
22. クロサワヒメコバネカミキリ  
高浜町：音海。希少種である。
23. ニッポンモモブトカミキリ  
三方町：常神。分布北西限である。
24. ミドリカミキリ  
高浜町：音海。
25. ヒメスギカミキリ  
敦賀市：立石。
26. スギカミキリ  
三方町：能登野。
27. エグリトラカミキリ  
高浜町：音海。
28. フタオビミドリトラカミキリ  
三方町：常神。小浜市：蒼島。高浜町：音海。
29. ヨツスジトラカミキリ  
三国町：雄島。三方町：常神。高浜町：鷹島。音海。
30. トゲヒゲトラカミキリ  
敦賀市：常宮。立石岬。高浜町：音海。
31. キュウシュウチビトラカミキリ  
美浜町：水晶浜。三方町：御神島。高浜町：音海。分布北西限である。
32. ホソトラカミキリ  
高浜町：音海。
33. ズマルトラカミキリ  
高浜町：音海。福井県が分布の北西限である。
34. ヤノトラカミキリ  
三方町：遊子。高浜町：音海。敦賀市中池見が分布北西限である。
35. ヘリグロベニカミキリ  
三方町：常神。
36. ベニカミキリ  
美浜町：菅浜。三方町：常神。
37. カタジロゴマフカミキリ  
三国町：安島。美浜町：菅浜。
38. ナガゴマフカミキリ  
美浜町：菅浜。三方町：烏辺島。御神島。大飯町：冠者島。高浜町：音海。風島。
39. ゴマフカミキリ  
美浜町：水晶浜。高浜町：音海。
40. タテスジゴマフカミキリ  
美浜町：菅浜。
41. キクスイモドキカミキリ  
三方町：常神。高浜町：音海。
42. コブスジサビカミキリ  
高浜町：風島。
43. ヒメアヤモンチビカミキリ  
三方町：烏辺島。御神島。分布の西北限である。
44. キボシチビカミキリ  
大飯町：犬見。
45. シロオビチビカミキリ  
美浜町：水晶浜。菅浜。
46. シロスジドウボソカミキリ  
高浜町：風島。音海。福井県が分布西北限。「日本産カミキリ大図鑑」の分布地図には福井県がマークされていないが文中には福井県以西と記述されているので誤記と思われる。
47. ハイイロヤハズカミキリ  
三国町：雄島。
48. マルモンサビカミキリ  
敦賀市：白木。



49. ワモンサビカミキリ  
高浜町：音海。
  50. トガリシロオビサビカミキリ  
三国町：雄島。三方町：御神島，常神。高浜町：風島，音海。
  51. アトモンサビカミキリ  
三方町：鳥辺島，御神島。小浜市：蒼島。
  52. アトジロサビカミキリ  
三国町：雄島。美浜町：菅浜。高浜町：音海。
  53. ピロウドカミキリ  
美浜町：菅浜。
  54. センノキカミキリ  
美浜町：菅浜。
  55. ゴマダラカミキリ  
三国町：雄島。
  56. マツノマダラカミキリ  
三国町：雄島。敦賀市：松原。高浜町：音海。
  57. カラフトヒゲナガカミキリ  
敦賀市：常宮。
  58. ヒメヒゲナガカミキリ  
三方町：常神。高浜町：音海。
  59. ヤハズカミキリ  
三国町：雄島。美浜町：菅浜。三方町：鳥辺島。小浜市：児島。
  60. チャボヒゲナガカミキリ  
敦賀市：常宮。
  61. シロチビコブカミキリ  
美浜町：菅浜。
  62. セミスジコブヒゲカミキリ  
美浜町：菅浜。高浜町：音海。
  63. フタオビアラゲカミキリ  
美浜町：菅浜。
  64. ヒゲナガモモブトカミキリ  
三国町：雄島。大飯町：犬見。
  65. ヒトオビアラゲカミキリ  
高浜町：音海。
  66. ガロアケシカミキリ  
三国町：雄島。高浜町：音海。
  67. アトモンマルケシカミキリ  
三国町：雄島。高浜町：鷹島。
  68. ナカバヤシモモブトカミキリ  
三国町：雄島。大飯町：犬見。
  69. クロオビトゲムネカミキリ  
三方町：御神島。分布北限種である。
  70. ケシカミキリ  
三国町：雄島。三方町：常神，御神島。高浜町：音海。
  71. ヨツキボシカミキリ  
美浜町：菅浜。三方町：常神。
  72. シラホシカミキリ  
美浜町：菅浜。
  73. ヘリグロリングカミキリ  
高浜町：音海。
  74. ヒメリングカミキリ  
三方町：御神島。
  75. キクスイカミキリ  
三国町：雄島。
- ハムシ科  
(マメゾウムシ科を含む)
1. ワモンナガハムシ  
三方町：常神。
  2. イクビマメゾウムシ  
三国町：雄島。
  3. ルリクビボソハムシ  
三方町：常神。高浜町：音海。
  4. ヤマイモハムシ  
大飯町：浦底。高浜町：音海。
  5. ホソクビナガハムシ  
敦賀市：常宮。
  6. キイロクビナガハムシ  
三方町：常神。高浜町：音海。
  7. アカクビナガハムシ  
敦賀市：常宮。大飯町：犬見。
  8. イネクビボソハムシ  
敦賀市：常宮。
  9. キイロナガツツハムシ  
三国町：松島。三方町：食見，世久津。高浜町：音海。
  10. タマツツハムシ  
三国町：雄島。高浜町：音海。
  11. バラルリツツハムシ  
敦賀市：常宮。三方町：常神。高浜町：音海。
  12. キアシルリツツハムシ  
美浜町：菅浜。
  13. ヨツモンクロツツハムシ  
美浜町：菅浜。
  14. セスジツツハムシ  
美浜町：菅浜。
  15. カシワツツハムシ  
美浜町：菅浜。大飯町：浦底。
  16. クロボシツツハムシ  
敦賀市：立石岬。美浜町：菅浜。
  17. ツバキコブハムシ  
三方町：常神。
  18. ムシクソハムシ  
美浜町：菅浜。三方町：御神島，常神，食見。大飯町：冠者島。高浜町：風島，音海。
  19. ドウガネツヤハムシ  
美浜町：菅浜。高浜町：音海。
  20. ヒメツヤハムシ  
三方町：鳥辺島，御神島。小浜市：児島。
  21. アカガネサルハムシ  
三国町：雄島。三方町：常神。小浜市：児島。
  22. アオバネサルハムシ  
三国町：雄島。
  23. ムナゲクロサルハムシ  
美浜町：菅浜。
  24. ウスイロサルハムシ  
三国町：雄島。

25. チビカサハラハムシ  
三方町：食見，常神。
26. マダラアラゲサルハムシ  
三方町：食見，常神。
27. カサハラハムシ  
三国町：雄島，高浜町：音海。
28. クロオビカサハラハムシ  
敦賀市：常宮，白木，三方町：常神，小浜市：  
児島。
29. コフキサルハムシ  
三方町：世久津。
30. アオガネヒメサルハムシ  
三国町：雄島，高浜町：音海。
31. ヒメキバネサルハムシ  
三方町：常神，高浜町：音海。
32. ドウガネサルハムシ  
三国町：雄島。
33. トビサルハムシ  
三方町：食見。
34. ヨモギハムシ  
三方町：常神。
35. ヤツボシハムシ  
三国町：雄島，三方町：世久津。
36. フジハムシ  
三方町：常神。
37. ルリハムシ  
美浜町：菅浜。
38. キクビアオハムシ  
高浜町：音海。
39. ムナグロツヤハムシ  
三国町：雄島。
40. ウリハムシ  
三国町：雄島。
41. キバラヒメハムシ  
三国町：雄島，大飯町：浦底。
42. クワハムシ  
三国町：雄島，敦賀市：立石岬，三方町：食  
見，音海。
43. イタドリハムシ  
三方町：常神。
44. ホタルハムシ  
高浜町：音海。
45. キイロクワハムシ  
高浜町：音海。
46. イチモンジハムシ  
三方町：常神，鳥辺島，御神島，小浜市：蒼  
島，高浜町：音海。暖地性昆虫で福井県が分布  
北限である。イタビカズラなどが食草。
47. アカタデハムシ  
三方町：常神，美浜町：菅浜，小浜市：児島。
48. クロサワツブノミハムシ  
三国町：雄島。
49. ツブノミハムシ  
美浜町：菅浜。
50. サメハダツブノミハムシ

- 三国町：雄島。
51. ヘリグロテントウノミハムシ  
三国町：雄島。
52. ウスイロマルノミハムシ  
三国町：雄島。
53. ヒゲナガルリマルノミハムシ  
敦賀市：白木。
54. オオアシナガトビハムシ  
三国町：雄島。
55. クビアカトビハムシ  
大飯町：浦底，高浜町：音海。
56. トケジホソトビハムシ  
高浜町：音海。
57. カタバミトビハムシ  
三国町：雄島。
58. コマルノミハムシ  
美浜町：菅浜，三方町：食見，大飯町：浦底。
59. チャバネツヤハムシ  
三国町：雄島。
60. フタホシオオノミハムシ  
美浜町：菅浜，大飯町：犬見，高浜町：音海。
61. ツマキタマノミハムシ  
三方町：鳥辺島，高浜町：音海。
62. キイロタマノミハムシ  
高浜町：常神。
63. ガマズミトビハムシ  
三国町：雄島，敦賀市：立石岬，美浜町：菅  
浜，三方町：常神。
64. クロトゲハムシ  
三国町：雄島。
65. スキバジンガサハムシ  
三国町：雄島。
66. ヒメカメノコハムシ  
三方町：鳥辺島。
67. セモンジンガサハムシ  
美浜町：菅浜，三方町：御神島。
68. イチモンジカメノコハムシ  
美浜町：菅浜，三方町：常神，御神島，高浜  
町：音海。

# ヒゲナガゾウムシ科

1. チビヒョウタンヒゲナガゾウムシ近縁種  
三国町：雄島，森本桂博士によれば近縁の未  
記載種ということである。
2. ワタミヒゲナガゾウムシ  
三方町：御神島。
3. アカアシヒゲナガゾウムシ  
敦賀市：常宮，高浜町：音海。
4. ヤツボシヒゲナガゾウムシ  
高浜町：音海。
5. ズカクシノミヒゲナガゾウムシ  
三方町：御神島。
6. クロオビキノコヒゲナガゾウムシ  
三国町：雄島，京都府冠島が基準産地で福井  
県雄島から記録された。



7. ミカンセマルヒゲナガゾウムシ  
美浜町：菅浜.
8. セマルヒゲナガゾウムシ  
美浜町：水晶浜, 菅浜. 高浜町：音海.
9. シロヒゲナガゾウムシ  
美浜町：菅浜. 高浜町：音海.
10. ナガフトヒゲナガゾウムシ  
高浜町：音海.
11. カオジロヒゲナガゾウムシ  
高浜町：音海.
12. キマダラヒゲナガゾウムシ  
高浜町：音海.
13. スネアカヒゲナガゾウムシ  
敦賀市：立石岬. 高浜町：音海.
14. コモンヒメヒゲナガゾウムシ  
高浜町：音海.

オトシブミ科

1. ヒメクロオトシブミ  
美浜町：菅浜. 高浜町：音海.
2. セアカヒメオトシブミ  
三国町：安島.
3. ウスモンオトシブミ  
高浜町：音海.
4. ヒゲナガオトシブミ  
高浜町：音海.
5. ヒメコブオトシブミ  
三方町：常神.
6. ナラオトシブミ  
美浜町：菅浜.
7. ハギルリオトシブミ  
敦賀市：立石岬. 高浜町：音海.
8. ルリオトシブミ  
敦賀市：常宮.
9. カシルリオトシブミ  
敦賀市：白木, 立石岬. 美浜町：菅浜. 三方町：常神, 烏辺島, 食見. 高浜町：音海.
10. ヒロウドアシアカオトシブミ  
美浜町：菅浜.
11. アシナガオトシブミ  
高浜町：音海.
12. クロケシツブチョッキリ  
三国町：雄島.
13. モンケシツブチョッキリ  
高浜町：音海.
14. ブドウハマキチョッキリ  
三国町：雄島. 高浜町：音海.
15. ファウストハマキチョッキリ  
美浜町：菅浜.
16. ベニホシハマキチョッキリ  
美浜町：菅浜.
17. ホソチョッキリ  
三国町：雄島. 高浜町：音海.
18. クチナガチョッキリ  
三国町：雄島. 高浜町：音海.

19. クチブトチョッキリ  
美浜町：菅浜.
20. カシルリチョッキリ  
美浜町：菅浜. 三方町：食見.
21. マルムネチョッキリ  
三方町：食見.
22. チビイクビチョッキリ  
美浜町：菅浜. 三方町：食見.
23. ヤドカリチョッキリ  
美浜町：菅浜.

ホソクチゾウムシ科

1. ギシギシホソクチゾウムシ  
三国町：浜地.
2. ヒゲナガホソクチゾウムシ  
高浜町：音海.
3. セアカホソクチゾウムシ  
三方町：常神.
4. マメホソクチゾウムシ  
高浜町：音海.
5. アカクチホソクチゾウムシ  
小浜市：児島.
6. ケブカホソクチゾウムシ  
三国町：雄島.
7. ヒレルホソクチゾウムシ  
三国町：雄島. 高浜町：音海.
8. ヒメケブカホソクチゾウムシ  
高浜町：音海.
9. ホソチビゾウムシ  
三国町：雄島.

ゾウムシ科

1. トゲアシゾウムシ  
美浜町：菅浜. 大飯町：浦底.
2. チビメナガゾウムシ  
三国町：雄島.
3. ミドリクチブトゾウムシ  
三国町：雄島.
4. ウスアオクチブトゾウムシ  
三方町：常神, 烏辺島. 小浜市：児島. 大飯町：浦底. 高浜町：音海.
5. コカシワクチブトゾウムシ  
大飯町：浦底.
6. ケブカクチブトゾウムシ  
三国町：雄島. 敦賀市：常宮. 高浜町：音海.
7. カシワクチブトゾウムシ  
三国町：雄島. 敦賀市：常宮. 美浜町：菅浜.
8. ツンプトクチブトゾウムシ  
美浜町：菅浜.
9. イコマケシツチゾウムシ  
三国町：雄島.
10. シロコブゾウムシ  
三方町：常神. 高浜町：音海.
11. コフキゾウムシ  
三国町：浜地, 雄島. 三方町：食見. 大飯町：

- 浦底。高浜町：音海。
12. オオミスジマルゾウムシ  
三方町：烏辺島，常神。小浜市：蒼島，大飯町：浦底。高浜町：音海。
13. ミスジマルゾウムシ  
三方町：烏辺島，御神島。大飯町：冠者島。高浜町：鷹島，音海。
14. ハスジゾウムシ  
三国町：雄島。
15. ゴボウゾウムシ  
三国町：雄島。
16. ハスジカツオゾウムシ  
三国町：雄島。
17. カツオゾウムシ  
小浜市：蒼島。高浜町：音海，鷹島。
18. アイノカツオゾウムシ  
三国町：雄島。
19. ホホシロアシナガゾウムシ  
高浜町：音海。
20. キスジアシナガゾウムシ  
高浜町：音海。
21. オジロアシナガゾウムシ  
美浜町：菅浜。三方町：常神。大飯町：浦底。高浜町：音海。
22. カギアシゾウムシ  
三国町：松島。
23. イネミズゾウムシ  
三国町：新保。敦賀市：常宮。小浜市：蒼島。高浜町：鷹島，音海。
24. クロコバンゾウムシ  
三国町：雄島。
25. クロタマゾウムシ  
大飯町：浦底。
26. コブノコギリゾウムシ  
高浜町：音海。
27. ヨツコブノコギリゾウムシ  
三方町：烏辺島。高浜町：音海。
28. ヒラセノミゾウムシ  
敦賀市：常宮。三方町：烏辺島，御神島，常神。小浜市：児島，蒼島。大飯町：冠者島。高浜町：音海，風島。
29. フトノミゾウムシ  
大飯町：浦底，犬見。
30. エノキノミゾウムシ  
三国町：雄島，安島。
31. マダラノミゾウムシ  
美浜町：菅浜。
32. アカアシノミゾウムシ  
三国町：雄島。三方町：常神，御神島。小浜市：冠者島。高浜町：音海。
33. ムネスジノミゾウムシ  
大飯町：浦底，犬見。
34. ウスモンノミゾウムシ  
美浜町：菅浜。
35. タバゲササラゾウムシ  
高浜町：音海。
36. イチゴハナゾウムシ  
三国町：浜地，雄島。美浜町：菅浜。
37. ユアサハナゾウムシ  
美浜町：菅浜。三方町：御神島。高浜町：音海。
38. クロナガハナゾウムシ  
三方町：御神島。
39. ムモンチビシギゾウムシ  
美浜町：菅浜。
40. ツバキシギゾウムシ  
三国町：雄島。敦賀市：白木。高浜町：音海。
41. セダカシギゾウムシ  
敦賀市：常宮。美浜町：菅浜。
42. コナラシギゾウムシ  
三方町：御神島。
43. シイシギゾウムシ  
高浜町：音海。
44. ジュウジチビシギゾウムシ  
美浜町：菅浜。三方町：常神，食見。大飯町：浦底，犬見。高浜町：音海。
45. レロフチビシギゾウムシ  
敦賀市：立石岬。三方町：常神。
46. クリシギゾウムシ  
大飯町：冠者島。
47. ヤノシギゾウムシ  
三国町：雄島。
48. シラホシヒメゾウムシ  
大飯町：浦底。高浜町：音海。
49. マダラヒメゾウムシ  
三方町：烏辺島。
50. ツヤチビヒメゾウムシ  
高浜町：音海。
51. ツヤケシヒメゾウムシ  
高浜町：音海。
52. キンケツツヒメゾウムシ  
美浜町：菅浜。希少種で分布北限。
53. キボシトゲムネサルゾウムシ  
敦賀市：常宮。
54. ケナガサルゾウムシ  
高浜町：音海。
55. ミヤマヒシガタクモゾウムシ  
三方町：烏辺島，御神島。高浜町：鷹島。
56. ヒラセクモゾウムシ  
三国町：雄島。
57. ヤマトヒラセクモゾウムシ  
三国町：雄島。
58. ツツキクイゾウムシ  
高浜町：音海。
59. マツキボシゾウムシ  
美浜町：菅浜。
60. マツアナアキゾウムシ  
美浜町：菅浜。
61. クワノコブコブゾウムシ  
美浜町：菅浜。
62. ボウサンクチカクシゾウムシ



三国町：雄島。三方町：烏辺島，御神島。小浜市：蒼島。大飯町：冠者島。高浜町：鷹島。  
次種とともに典型的な島嶼昆虫。

63. ダルマクチカクシゾウムシ  
三方町：御神島，烏辺島。
64. チビクチカクシゾウムシ  
小浜市：児島。
65. マダラアシゾウムシ  
高浜町：音海。
66. アシナガオニゾウムシ  
三国町：雄島，松島。三方町：烏辺島。
67. マツアラハダクチカクシゾウムシ  
美浜町：菅浜。
68. キボシクチカクシゾウムシ  
三方町：常神。
69. マツノシラホシゾウムシ  
美浜町：菅浜。小浜市：児島。
70. ニセマツノシラホシゾウムシ  
三国町：浜地，雄島，安島。
71. ヒサゴクチカクシゾウムシ  
三国町：雄島。三方町：烏辺島，御神島。小浜市：児島，蒼島。大飯町：冠者島。高浜町：鷹島，風島，音海。
72. マツクチブトキクイゾウムシ  
三方町：烏辺島，御神島。小浜市：児島。高浜町：鷹島。
73. マツチャイロキクイゾウムシ  
三方町：常神。
74. チャバネキクイゾウムシ  
三国町：雄島。三方町：常神。高浜町：音海。
75. ハンノキコブキクイゾウムシ  
美浜町：菅浜。

オサゾウムシ科

1. スギキクイサビゾウムシ  
高浜町：音海。
2. オオゾウムシ  
三国町：雄島。美浜町：菅浜。
3. オオシロオビゾウムシ  
三国町：松島。
4. トホシオサゾウムシ  
美浜町：菅浜。高浜町：音海。
5. ササコクゾウムシ  
美浜町：水晶浜，菅浜。

6. コクゾウムシ  
高浜町：音海。

ナガキクイムシ科

1. ヨシブエナガキクイムシ  
美浜町：菅浜。
2. カシノナガキクイムシ  
美浜町：菅浜。

キクイムシ科

1. ニレカワノキクイムシ  
高浜町：音海。
2. ニイジマキクイムシ  
美浜町：菅浜。高浜町：音海。
3. マツノスジキクイムシ  
美浜町：菅浜。
4. マツノキクイムシ  
美浜町：菅浜。
5. キイロコキクイムシ  
美浜町：菅浜。
6. ツルノコキクイムシ  
美浜町：菅浜。
7. カナクギノキクイムシ  
美浜町：水晶浜，菅浜。高浜町：音海。
8. コーヒーキクイムシ  
敦賀市：常宮。高浜町：音海。
9. ツヤナシキクイムシ  
美浜町：菅浜。
10. クワノキクイムシ  
美浜町：水晶浜，菅浜。
11. シイノホソキクイムシ  
美浜町：水晶浜。
12. クスノオオキクイムシ  
美浜町：水晶浜，菅浜。
13. サクセスキクイムシ  
美浜町：水晶浜，菅浜。
14. ハンノキキクイムシ  
美浜町：菅浜。
15. マツノツノキクイムシ  
三国町：雄島。美浜町：菅浜。三方町：世久津。
16. ミカドキクイムシ  
三方町：常神。美浜町：菅浜。
17. タイコンキクイムシ  
美浜町：菅浜。

## 主要文献

- 福井県自然環境保全調査研究会昆虫部会. 1985. 福井県昆虫目録. 404頁. 福井県. (甲虫目：佐々治寛之・斎藤昌弘担当, pp. 79-244 ; 文献目録：pp.389-404.)
- 福井県自然環境保全調査研究会昆虫部会. 1998. 福井県昆虫目録 (第2版). 印刷中. 福井県. (甲虫目：佐々治寛之・斎藤昌弘・酒井哲弥・井上重紀・陶山治宏担当).
- 佐々治寛之. 1976. 福井県雄島の昆虫相. 福井大・教育・紀要, (26) : 27-57.
- 佐々治寛之. 1978. 福井県御神島にヒメハルゼミ生息, 付, 暖地性昆虫数種の分布記録. 昆虫と自然, 13 (3) : 23-24.
- 上野輝久. 1986. 若狭湾島嶼の甲虫目録 (1986年の調査から). 福井県高校理科研究会誌, (29) : 88-96.
- 上野輝久. 1992. 若狭湾島嶼・半島部の甲虫類. 福井虫報, (10) : 52-54.